

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【公開番号】特開2006-261876(P2006-261876A)

【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2005-74318(P2005-74318)

【国際特許分類】

<i>H 04 N</i>	1/387	(2006.01)
<i>B 41 J</i>	21/00	(2006.01)
<i>G 06 F</i>	3/12	(2006.01)
<i>G 06 T</i>	1/00	(2006.01)
<i>B 41 J</i>	2/01	(2006.01)
<i>H 04 N</i>	1/40	(2006.01)

【F I】

<i>H 04 N</i>	1/387	
<i>B 41 J</i>	21/00	Z
<i>G 06 F</i>	3/12	L
<i>G 06 T</i>	1/00	5 0 0 B
<i>B 41 J</i>	3/04	1 0 1 Z
<i>H 04 N</i>	1/40	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月10日(2007.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置で印刷出力する印刷画像データを生成する画像処理方法であって、原稿となる画像に画像処理を行つて前記インクジェット記録装置で出力可能な多値のドットに応じた原稿画像データに変換し、この原稿画像データと複写を禁止する文書であることを示す画像パターンの多値のドットに応じたデータとを重ね合わせて前記インクジェット記録装置で印刷出力可能な多値のドットに応じた印刷画像データを生成することを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置で印刷出力する印刷画像データを生成する画像処理方法であって、原稿となる画像と複写を禁止する文書であることを示す画像パターンとを合成し、この合成した画像に画像処理を行つて前記インクジェット記録装置で出力可能な多値のドットに応じた印刷画像データを生成することを特徴とする画像処理方法。

【請求項3】

請求項2に記載の画像処理方法において、前記画像パターンは前記原稿画像の背景側のみに形成されるように合成することを特徴とする画像処理方法。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれかに記載の画像処理方法において、前記画像パターンは、印刷出力で使用されるドットが原稿を複写する複写装置が再現できる画像濃度又はドットサ

イズであるパターンであることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 5】

請求項 1ないし4のいずれかに記載の画像処理方法において、前記画像パターンは、印刷出力時に少なくとも2つの異なるドットサイズで形成されるパターンであることを特徴する画像処理方法。

【請求項 6】

請求項 1ないし4のいずれかに記載の画像処理方法において、前記画像パターンは、印刷出力時に少なくとも2つの異なるドットサイズ及び配列密度で形成されるパターンであることを特徴する画像処理方法。

【請求項 7】

請求項 5又は6に記載の画像処理方法において、前記画像パターンは、印刷出力時に一色の少なくとも2つの異なるドットサイズのドットで形成されるパターンであることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置で印刷出力する印刷画像データを生成する処理をコンピュータに実行させるプログラムであって、前記請求項1ないし7のいずれかに記載の画像処理方法に係る手順をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 9】

記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置で印刷出力する印刷画像データを生成する処理をする画像処理装置であって、請求項1ないし7のいずれかに記載の画像処理方法を行なう手段又は請求項8に記載のプログラムを搭載していることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 10】

記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置において、入力された原稿となる画像と複写を禁止する文書であることを示す画像パターンとを合成する手段と、この合成した画像に画像処理を行って多値のドットに応じた印刷画像データを生成する手段とを備えていることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 11】

請求項10に記載のインクジェット記録装置において、前記画像パターンは前記原稿画像の背景側のみに形成されるように合成することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 12】

請求項10又は11に記載のインクジェット記録装置において、前記画像パターンは、印刷出力で使用されるドットが原稿を複写する複写装置が再現できる画像濃度又はドットサイズであるパターンであることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 13】

請求項10ないし12のいずれかに記載のインクジェット記録装置において、前記画像パターンは、印刷出力時に少なくとも2つの異なるドットサイズで形成されるパターンであることを特徴するインクジェット記録装置。

【請求項 14】

請求項10ないし12のいずれかに記載のインクジェット記録装置において、前記画像パターンは、印刷出力時に少なくとも2つの異なるドットサイズ及び配列密度で形成されるパターンであることを特徴するインクジェット記録装置。

【請求項 15】

請求項13又は14に記載のインクジェット記録装置において、前記画像パターンは、印刷出力時に一色の少なくとも2つの異なるドットサイズのドットで形成されるパターンであることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 16】

請求項8に記載のプログラムを記憶していることを特徴とする記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理方法、プログラム、画像処理装置、インクジェット記録装置、記憶媒体

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は画像処理方法、プログラム、画像処理装置、インクジェット記録装置、記憶媒体に関し、特に複写されたときに複写物であることが判別可能となる印刷出力を行なうための画像処理方法、プログラム、画像処理装置、インクジェット記録装置、記憶媒体に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は上記の課題に鑑みてなされたものであり、インクジェット記録装置を用いて複写されたときに複写物であることが判別可能になる印刷出力を行なえるようにすることを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明に係るプログラムは、記録液の液滴を吐出して多値のドットを形成可能なインクジェット記録装置で印刷出力する印刷画像データを生成する処理をコンピュータに実行させるプログラムであって、本発明に係る画像処理方法に係る手順をコンピュータに実行させる構成とした。

本発明に係る記憶媒体は、本発明に係るプログラムを記憶したものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明に係るプログラムによれば、本発明に係る画像処理方法に係る手順をコンピュータに実行させ、また、本発明に係る画像処理装置によれば、本発明に係る画像処理方法を実行する手段又は本発明に係るプログラムを搭載しているので、インクジェット記録装置を用いて複写されたときに複写物であることを判別可能な印刷出を行なうことができるようになる。本発明に係る記録媒体によれば、本発明に係るプログラムを記憶しているので、本発明に係るプログラムを提供することができる。